

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	大田原市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	那須与一の郷・高館地域活性化推進事業	総事業費	4,436,289	4,532,000	4,031,940	3,317,207	2,931,872	19,249,308
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	8,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
2	城下町くろばね 地域活性化事業	総事業費	2,395,298	2,385,311	2,342,666	1,246,260	100,000	8,469,535
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,000,000	0	7,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
3	地域資源を活かした金丸地域の活性化事業	総事業費	2,110,607	1,621,289	2,181,348	1,192,873	1,329,701	8,435,818
		うち市町支出額	2,000,000	1,500,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	7,500,000
		うち県交付金	1,000,000	750,000	1,000,000	0	0	2,750,000
4	大田原市黒羽食文化普及推進事業	総事業費	1,545,975	962,269	1,018,000	841,837	380,000	4,748,081
		うち市町支出額	1,000,000	700,000	700,000	600,000	300,000	3,300,000
		うち県交付金	500,000	350,000	350,000	0	0	1,200,000
5	大田原市産農畜産物普及促進及びそれらを原材料とした商品開発事業	総事業費	2,200,000	1,832,561	200,000	200,000	200,000	4,632,561
		うち市町支出額	2,000,000	1,600,000	0	0	0	3,600,000
		うち県交付金	1,000,000	800,000	0	0	0	1,800,000
6	地域資源“大田原の星空”を活用した観光宣伝事業	総事業費	4,490,717	5,249,903	4,235,873	600,000	800,000	15,376,493
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	450,000	6,450,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
7	あかがしの森保全および地域利用推進事業	総事業費	1,102,039	1,002,554	763,002	300,469	200,000	3,368,064
		うち市町支出額	1,100,000	1,000,000	750,000	270,000	160,000	3,280,000
		うち県交付金	550,000	500,000	375,000	0	0	1,425,000
8	おおたわら龍城せせらぎの舞実施事業	総事業費	1,149,000	2,052,745	1,204,861	1,237,933	1,106,000	6,750,539
		うち市町支出額	1,000,000	2,000,000	1,086,000	980,000	850,000	5,916,000
		うち県交付金	500,000	1,000,000	543,000	0	0	2,043,000
9	フクローの郷 地域活性化事業	総事業費	419,851	323,319	278,977	50,000	50,000	1,122,147
		うち市町支出額	400,000	250,000	220,000	0	0	870,000
		うち県交付金	200,000	125,000	110,000	0	0	435,000
10	両郷地区伝統芸能継承事業	総事業費	1,030,003	458,029	489,430	100,000	100,000	2,177,462
		うち市町支出額	1,000,000	400,000	430,000	0	0	1,830,000
		うち県交付金	500,000	200,000	215,000	0	0	915,000
11	花瓶山を主体とした地域活性化事業	総事業費		1,200,207	826,033	837,205	400,000	3,263,445
		うち市町支出額		1,180,000	800,000	700,000	320,000	3,000,000
		うち県交付金		590,000	400,000	350,000	0	1,340,000
12	佐良土地区伝統継承事業	総事業費		2,600,230	3,197,331	3,322,936	465,126	9,585,623
		うち市町支出額		1,500,000	1,500,000	1,000,000	0	4,000,000
		うち県交付金		750,000	750,000	500,000	0	2,000,000
13	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動による金丸・大田原の活性化事業	総事業費		1,515,337	2,104,869	1,209,103	1,300,000	6,129,309
		うち市町支出額		1,500,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	5,500,000
		うち県交付金		750,000	1,000,000	500,000	0	2,250,000
14	雲巖寺新能実施事業	総事業費			1,000,000	980,719	1,013,069	2,993,788
		うち市町支出額			850,000	850,000	794,000	2,494,000
		うち県交付金			425,000	425,000	397,000	1,247,000

15	地域の歴史的文化資産の活用による湯津上地区の活性化事業	総事業費			450,004	1,145,907	1,333,000	2,928,911
		うち市町支出額			400,000	950,000	1,000,000	2,350,000
		うち県交付金			200,000	475,000	500,000	1,175,000
16	屋台出動事業	総事業費			8,261,148	7,506,558	7,240,000	23,007,706
		うち市町支出額			4,200,000	4,200,000	3,500,000	11,900,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
17	芸術文化を活用した地域活性化事業	総事業費			10,908,948	9,581,523	1,410,986	21,901,457
		うち市町支出額			7,000,000	8,500,000	0	15,500,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	0	2,000,000
18	黒羽田町夏祭り地域活性化推進事業	総事業費				2,154,690	770,650	2,925,340
		うち市町支出額				1,000,000	0	1,000,000
		うち県交付金				500,000	0	500,000
19	自転車を活用した地域資源“大田原の自然・人・文化”の理解促進・普及啓発事業～おおたわら丘ポタ～	総事業費				1,609,100	1,300,000	2,909,100
		うち市町支出額				800,000	500,000	1,300,000
		うち県交付金				400,000	250,000	650,000
20	未来につなぐ大田原子供夏祭り実施事業	総事業費				897,100	1,180,000	2,077,100
		うち市町支出額				796,000	730,000	1,526,000
		うち県交付金				398,000	365,000	763,000
21	那珂川レディース鮎釣り大会実施事業	総事業費				2,221,000	96,968	2,317,968
		うち市町支出額				2,000,000	0	2,000,000
		うち県交付金				1,000,000	0	1,000,000
22	御亭山タイムトライアル実施事業	総事業費				2,867,276	131,439	2,998,715
		うち市町支出額				2,000,000	0	2,000,000
		うち県交付金				1,000,000	0	1,000,000
23	みんなで楽しむNASU おおた笑市 楽しみん祭り実施事業	総事業費					1,050,000	1,050,000
		うち市町支出額					840,000	840,000
		うち県交付金					420,000	420,000
市町計		総事業費	20,879,779	25,735,754	43,494,430	43,419,696	24,888,811	158,418,470
		うち市町支出額	14,500,000	17,630,000	27,936,000	28,646,000	12,444,000	101,156,000
		うち県交付金	7,250,000	8,815,000	10,368,000	7,548,000	2,932,000	36,913,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	雲巖寺薪能実施事業
事業主体の名称	やみぞあづまっぺ協議会
代表者の名称	鈴木 一利
事業主体の所在	〒324-0213 大田原市雲岩寺60
事業主体の概要	団体の目的: 地区住民が明るく元気よく暮らせ、地域の本物を発見発掘し後世につなぐこと。 設立年月日: 平成24年4月 構成員等: 地域住民及び地域の活動に賛同していただける方
当該事業に係る地域の現状と課題	雲岩寺地域は大田原市の北東部に位置し、中心市街地より30km以上離れた地域であり、少子高齢化が顕著に進んでいる。「雲巖寺」という歴史のある由緒正しき寺院が建立されており、近年の歴史探究ブーム等により当寺院へ訪れる人はいるものの、寺院以外の目的はなく、地域の発展にはつながっていない。 また、第一次産業で生計を立てている人がほとんどであるが、今後ますますの少子高齢化により耕作放棄地が拡大しつつある。
事業目的	市内外からの来訪者を増やし、地域の農作物等の魅力を伝えていくことによって雲岩寺地域の価値を”地面”から見直していくとともに、農産物の生産、行事等の参加を通じて地域の高齢者の生きがいづくりや世代間の交流を図ることを目的とする。
事業概要	【令和2(2020)年度】 構成員が一丸となり地域の行事への参加取り組みを実施する。 ①雲巖寺薪能を開催する(10月24日(土)) ②農産物の生産・販売等 ③農産物の生産による高齢者の生きがいづくり及び就労の確保 ④幅広い年齢層のコミュニケーション構築のための行事実施 ・お茶摘み体験会(5月) ・やみぞあづまっぺ協議会収穫祭(11月上旬) ・門松づくり(12月下旬) 【令和3(2021)年度以降】 前年度の反省点を踏まえ、事業内容の改善を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸福感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2: 200人【H30実績132人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26: 3,038,548人→R2: 347万人【H30実績: 3,501,066人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①薪能の開催 ②農産物の生産・販売 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築 ⑤とちぎDCに合わせた観光案内	①薪能の開催 ②農産物の生産・販売 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築	①薪能の開催 ②農産物の生産・販売 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築		①薪能の開催 ②農産物の生産・販売 ③農作物生産による生きがい及び就労確保 ④幅広い年齢層コミュニケーション構築
事業費	1,000,000	980,719	1,013,069	2,993,788	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	850,000	850,000	794,000	2,494,000	0
うち県交付金	425,000	425,000	397,000	1,247,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	150,000	130,719	219,069	499,788	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係	
担当者名	小山田 良洋	
連絡先	電話	0287-23-8793
	FAX	0287-23-8748
	E-mail	seisakuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	雲巖寺薪能実施事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	794,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
寄付金	100,000	薪能寄付金
協賛金	106,000	薪能協賛金
繰越金	13,069	前年度繰越金
計	1,013,069	

2 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	600,000	480,000	240,000	120,000	出演者謝礼
消耗品費	10,069	8,000	4,000	2,069	事務用品等
食糧費	20,000	0	0	20,000	来賓茶菓子
印刷製本費	50,000	40,000	20,000	10,000	チラシ、ポスター作成
通信運搬費	20,000	16,000	8,000	4,000	機材運搬
手数料	103,000	82,000	41,000	21,000	舞台照明、音響設置手数料
保険料	30,000	24,000	12,000	6,000	賠償責任保険
委託料	100,000	80,000	40,000	20,000	警備業務等
使用料及び賃借料	30,000	24,000	12,000	6,000	舞台、椅子
備品購入費	50,000	40,000	20,000	10,000	舞台衣装、舞台装置
計	1,013,069	794,000	397,000	219,069	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域の歴史的文化資産の活用による湯津上地区の活性化事業
事業主体の名称	那須国古代ロマンプロジェクト
代表者の名称	佐藤 憲一
事業主体の所在	〒324-0404 大田原市佐良土853(湯津上商工会内)
事業主体の概要	団体の目的: 湯津上地区における歴史的資産である「那須国造碑」「侍塚古墳群」の調査研究と観光地として整備することで歴史的資産を後世に遺し、地域の活性化を図ることを目的とする。 設立年月日: 平成30年4月7日 構成員等: 商工・観光団体の代表者、地域関係者、学識経験者、プロジェクトが認める者
当該事業に係る地域の現状と課題	湯津上地区には国宝に指定されており日本三古碑の一つである「那須国造碑」や国史跡に指定され日本一美しい古墳と呼ばれている下侍塚古墳を中心とした「侍塚古墳群」などの歴史的資産を有するが、現状、地域人口の減少により自主的な環境整備にまで手が回らず、せっかくの歴史的資産が朽ち果てていく一方である。
事業目的	地域住民の減少により朽ち果てつつある湯津上地区の歴史的文化資産を学術的な見地により検証することは、全国の歴史愛好家の興味を集めるものであり、この歴史的資産を有効に活用することで交流人口の増加を図り、地域の賑わいを取り戻すきっかけを作る。最終的に歴史公園としての整備を望んでいるが、その前段としてこの歴史的資産を活用し学術的な検証を行い文化講演を実施し交流人口の増加につなげたい。
事業概要	【令和2(2020)年度】 ①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 専門家による学術的な検証を実施する。 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 専門家による学術的な検証を実施する。 ③プロジェクトPRの実施 ・プロジェクトPR冊子の作成 ・侍塚古墳群周辺散策等の参加型イベントを開催し、那須国古代ロマンプロジェクトのPRに取り組む。 ・天狗王国祭り、市産業文化祭等に参加し、那須国古代ロマンプロジェクトのPRに取り組む。 ④専門家による文化講演会の開催(12月中旬) 地域住民はもとより歴史愛好家に対し歴史的背景を浸透させることで交流人口拡大へ貢献するため、歴史文化講演会を開催する。 【令和3(2021)年度以降】 前年度の事業の反省を踏まえ、上記①～④を継続して実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H30実績132人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進) 【KPI②】文化芸術イベントの来場者数 H26:4,790人→R2:5,000人【H30実績:4,768人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 ③専門家による文化講演会の開催 ④地域の情報を紹介するパンフレット等の作成	①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 ③プロジェクトPRイベントの実施 ④専門家による文化講演会の開催	①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 ③プロジェクトPRイベントの実施 ④専門家による文化講演会の開催		①考古学的見地による湯津上地区の役割を検証 ②地政学上における湯津上地区の役割を検証 ③プロジェクトPRイベントの実施 ④専門家による文化講演会の開催
事業費	450,004	1,145,907	1,333,000	2,928,911	450,000
市町支出金(ソフト事業分)	400,000	950,000	1,000,000	2,350,000	0
うち県交付金	200,000	475,000	500,000	1,175,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	50,004	195,907	333,000	578,911	450,000

市町担当情報		
担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係	
担当者名	小山田 良洋	
連絡先	電話	0287-23-8793
	FAX	0287-23-8748
	E-mail	seisakuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域の歴史的文化資産の活用による湯津上地区の活性化事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	1,000,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
協賛金	79,310	湯津上地区の賛同者からの寄付
負担金	250,000	会員負担金
繰越金	3,690	
計	1,333,000	

2 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	120,000	90,000	45,000	30,000	講習会講師謝礼
消耗品費	150,000	112,000	56,000	38,000	講演会、イベント用消耗品
印刷製本費	450,000	338,000	169,000	112,000	イベントポスター・パンフ・チラシ等
通信運搬費	10,000	7,000	3,500	3,000	チラシ配送料
委託料	400,000	301,000	150,500	99,000	イベント会場整備等
使用料及び賃借料	200,000	150,000	75,000	50,000	イベント・講演会会場使用料等
手数料	3,000	2,000	1,000	1,000	振込手数料等
計	1,333,000	1,000,000	500,000	333,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	屋台出動事業
事業主体の名称	大田原市屋台まつり実行委員会
代表者の名称	委員長 小倉正敏
事業主体の所在	大田原市山の手1丁目1番1号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:大田原市の祭事、記念行事等に屋台(山車)を出動し、市民の連帯感と郷土愛を育み、伝統文化の継承を図る。 ・設立年月日:平成3年2月21日 ・構成員等:大田原市内に屋台を有する町内の祭典委員長等 64名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市中心市街地は、江戸時代には宿場町として栄え、以降本市の中心地として発展してきたが、近年では人口や商業施設の減少など、中心市街地の空洞化が進んでいた。その対策として、平成20年に国の認定を受け、中心市街地活性化事業に取組み、現在は事業により整備した複合商業施設を中心に賑わいを取り戻しつつあるが、人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。</p> <p>そのような中、民間事業者による宅地分譲により、新たな居住者が増えている地域もあり、今後、地域コミュニティの強化を図るうえでも住民間で交流を促進し、連帯感を醸成していく必要がある。</p>
事業目的	祭りを通して、市民の連帯感と郷土愛を育み、市伝統文化の継承を図るとともに、市外に大田原をPRすることにより産業の振興及び文化の発展を図る。
事業概要	<p>【令和2(2020)年度】</p> <p>①大田原屋台まつりの実施 期日 10月 会場 大田原市中心市街地 内容 中心市街地において、9町内の花鳥・唐獅子など精巧な技法で彫り込まれた華やかな屋台を引き回し、江戸時代から続く伝統行事の継承、祭りを通じて地域の連帯感を培う。</p> <p>②大田原屋台まつり写真コンクールの実施 祭り期間中に撮影した屋台、屋台引き回し、参加者、ぶっつけ等の迫力ある写真を応募対象として写真コンクールを実施する。</p> <p>【KPI向上の取組】 江戸時代から続く大田原屋台まつりの伝統及び祭りの醍醐味である屋台同士のお囃子の競演「ぶっつけ」の迫力を市内外に広く情報発信するためのPRを強化する。</p> <p>【令和3(2021)年度以降】 前年度の成果を踏まえ、祭り来場者の増加及びおもてなしの向上を図り、更なる来場者の増加に取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H30実績132人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→R2:347万人【H30実績:3,501,066人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催		大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催
事業費	8,261,148	7,506,558	7,240,000	23,007,706	7,200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,200,000	4,200,000	3,500,000	11,900,000	3,500,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,061,148	3,306,558	3,740,000	11,107,706	3,700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	小山田 良洋
連絡先	
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	屋台出動事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部 (単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	3,500,000	大田原市屋台出動事業費補助金
補助金	230,000	大田原商工会議所、大田原市観光協会、大田原商店連盟
負担金	720,000	出動負担金(9町×80,000円)
協賛金	100,000	写真コンクール協賛金(各町計90,000円他)
事業収入	1,900,000	チラシ広告料(1,000,000円)、カレンダー販売(600,000円)、視察研修参加費(300,000円)
雑収入	156,568	祝金、預金利息等
繰入金	90,000	積立金より繰入
繰越金	543,432	
計	7,240,000	

2 支出の部 (単位:円)

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町支出額	県交付金		
報償費	2,763,000	1,910,000	546,000	853,000	屋台出動謝礼(傷害保険補助金)
旅費	250,000	0	0	250,000	視察等旅費
交際費	50,000	0	0	50,000	視察等手土産代
消耗品費	80,000	50,000	14,000	30,000	イベント時消耗品、事務用品等
印刷製本費	1,670,000	740,000	212,000	930,000	ポスター、チラシ、カレンダー等
食糧費	675,000	0	0	675,000	会場設営・会議時飲物等
通信運搬費	100,000	70,000	20,000	30,000	案内通知、ポスター送付等
広告費	210,000	140,000	40,000	70,000	新聞折込、ラジオCM等
委託料	796,400	490,000	140,000	306,400	警備・花火・音響等
使用料及び賃借料	250,000	100,000	28,000	150,000	会場トイレ・会場借上げ等
予備費	95,600	0	0	95,600	
積立金	300,000	0	0	300,000	
計	7,240,000	3,500,000	1,000,000	3,740,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	自転車を活用した地域資源“大田原の自然・人・文化”の理解促進・普及啓発事業～おおたわら丘ポタ～
事業主体の名称	大田原サイクリング協会
代表者の名称	会長 前田 幸雄
事業主体の所在	大田原市美原1-7-5(RaChePi内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 自転車を活用したイベント等の開催をすることで、県内外からサイクリストを大田原市に集めることで地域の観光を盛り上げるとともに、自転車が安全で走りやすい環境の構築、他地域への情報発信及び交流を通じた地域活性化を図る。</p> <p>・設立年月日: 平成29年11月19日</p> <p>・構成員等: サイクリング愛好者等 16名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は地元のプロサイクリングチームが練習コースにしている御亭山をはじめ那珂川沿岸などサイクリストにとって魅力が多い資源があるにもかかわらず、サイクリストが通過するだけの「まち」とされてきた。平成27年度の全日本自転車競技選手権大会の開催をきっかけに、県内のサイクルツーリズムへの取組みや市主催のサイクリングイベントの開催と相まって多くのサイクリストが訪れるようになり、サイクリストを受け入れる態勢も少しずつ整ってきたところである。しかし、市主催のサイクリングイベント「おおたわらエコポタ」や「Jプロツアー」事業が終了し、サイクリングイベントが少なくなってしまった。</p> <p>ポタリングイベントの開催を継続することで、リピーターとなるサイクリストの受け皿を作ることで、また、大田原市に新たな人の流れをつくらせて交流を促進し、地域資源である大田原市の自然・人・食・文化を市内外に広く知ってもらい、地域の活性化を図ることが重要である。</p>
事業目的	ポタリングイベントを開催し、市内外に「自転車のまち」大田原のPRを行う。また、自転車で市内を周遊しながら地元のグルメを味わうことで、地域資源である“大田原の自然・人・文化”を知ってもらい、郷土愛を育むとともに、産業の振興及び各種スポーツ自転車イベントを通じスポーツに触れる機会を提供する。
事業概要	<p>【令和2(2020)年度】</p> <p>「おおたわら丘ポタ」の実施 期日 令和2年10月11日(日) 会場 大田原市役所湯津上支所 内容 大田原市の隠れた絶景スポット「那須野ヶ原ファーム」や「ふれあいの丘」を自転車で周遊し、自然の豊かさに触れ、グルメを味わうことで大田原市の魅力を再発見するためのポタリングイベントを開催する。</p> <p>①ロングコース(約32km) 二つの丘を周遊することで自転車愛好家にも満足感が得られるコース 大田原市役所湯津上支所→ふれあいの丘→那須野ヶ原ファーム→大田原市役所湯津上支所</p> <p>②ショートコース(約16km)コース 自転車初心者、ファミリーでも気軽に楽しめるコース 大田原市役所湯津上支所→那須野ヶ原ファーム→大田原市役所湯津上支所</p> <p>【KPI向上の取組】</p> <p>参加者の脚力に合わせた二つのコースを設定することで、自転車初心者やファミリーでも参加しやすいポタリングイベントにするとともに、大田原市の地域資源である豊かな自然を体験できるコース設定とする。 コースに合わせた特長のあるエイドを設定し地元のグルメを提供し、大田原の「食」をPRする。 エイドや運営に地元ボランティアに参加してもらい、大田原市の「人」に触れて交流促進を図る。</p> <p>【令和3(2021)年度】</p> <p>前年度の成果を踏まえ、参加するサイクリストの増加及びおもてなしの向上を図り、サイクリストに優しいまち大田原市のPRを行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2: 200人【H30実績132人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26: 3,038,548人→R2: 347万人【H30実績: 3,501,066人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	おおたわら丘ポタの開催	おおたわら丘ポタの開催		おおたわら丘ポタの開催
事業費	1,609,100	1,300,000	2,909,100	1,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	800,000	500,000	1,300,000	0
うち県交付金	400,000	250,000	650,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	809,100	1,609,100	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	自転車を活用した地域資源“大田原の自然・人・文化”の理解促進・普及啓発事業～おおたわら丘ポタ	
対象年度	2	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	500,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
参加費	600,000	200名×3,000円
協賛金等	200,000	20件×10,000円
計	1,300,000	

2 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町支出額	県交付金		
消耗品費	325,000	210,000	105,000	115,000	参加記念品、ゼッケンラベル
食糧費	600,000	0	0	600,000	参加者エイド、参加者昼食
印刷製本費	78,000	60,000	30,000	18,000	ポスター、チラシ
通信運搬費	40,000	30,000	15,000	10,000	ゼッケン郵送
保険料	32,000	20,000	10,000	12,000	傷害保険料
委託料	175,000	140,000	70,000	35,000	会場設営、音響、警備、
備品購入費	50,000	40,000	20,000	10,000	会場機材等
				0	
計	1,300,000	500,000	250,000	800,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	未来につなぐ大田原子供夏祭り実施事業
事業主体の名称	大田原絆祭り実行会
代表者の名称	高橋 誠
事業主体の所在	大田原市紫塚3-2609-45
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「未来につなぐ大田原子供夏祭り」の開催を通し、これからの大田原市を担う子供達の地域への愛着心を養い、もっと「大田原市を好きになってもらう」きっかけを作り、子供参加型とすることにより自分たちも将来楽しみながら大田原市を盛り上げていく意識づくりにつながる実体験の提供を目的とする。</p> <p>・設立年月日:2019年4月1日</p> <p>・構成員等:実行役員6名、学生等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>大田原市では年々人口減少、少子高齢化、若者の県外への人口流出が問題となっている。その一つの要因として子供たち、若者の地元に対する愛着心の低下、自分たちの住んでいる市町村への関心の薄れなどが大きく関わっていることを切に感じている。それらの問題を解決していくには、若者や子供たち参加型のイベント開催が有効であると感じているが、いかにして若者や子供たちを巻き込み、自分たちでイベントを作り上げていく楽しさや成功体験を味わう機会を提供できるかが課題である。</p>
事業目的	<p>・子供達の地域への愛着心を養う。</p> <p>・大田原市のテーマである「子供の笑顔が育つ町」の推進と実行。</p> <p>・市民自身に地域の魅力を認識してもらう。</p> <p>・若者、子供たちに大田原市の魅力を認識してもらい、定住を促す。</p>
事業概要	<p>【令和2(2020)年度】</p> <p>「未来につなぐ大田原子供祭り2020」を開催する。(11月15日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内民間子供クラブ等によるパフォーマンス ・国際医療福祉大学生によるパフォーマンス ・大田原グルメ市 ・フリーマーケット ・大田原市の歴史を学ぶスタンプラリー ・与一君の大田原〇×クイズ ・アルパカや小動物とふれあうこども動物園 ・読み聞かせこども図書館 ・パトカー、白バイと記念撮影 ・こどもマルシェ <p>【令和2(2020)年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を評価分析し、継続して実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2:200人【H30実績132人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→R2:347万人【H30実績:3,501,066人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	「未来につなぐ大田原子供夏祭り」開催	「未来につなぐ大田原子供夏祭り」開催		「未来につなぐ大田原子供夏祭り」開催
事業費	897,100	1,180,000	2,077,100	1,500,000
市町支出金(ソフト事業分)	796,000	730,000	1,526,000	0
うち県交付金	398,000	365,000	763,000	
市町支出金(ハード事業分)			0	0
うち県交付金			0	
その他自主財源等	0	450,000	551,100	1,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係	
担当者名	小山田 良洋	
連絡先	電話	0287-23-8793
	FAX	0287-23-8748
	E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	未来につなぐ大田原子供夏祭り実施事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	730,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
出店料	200,000	参加者出店料
協賛金	237,765	企業等協賛金
繰越金	12,235	
計	1,180,000	

2 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	150,000	93,000	46,500	57,000	アーティスト等謝礼
消耗品費	300,000	186,000	93,000	114,000	容器、器具、文房具類
印刷製本費	220,000	136,000	68,000	84,000	チラシ・ポスター・写真
広告宣伝費	200,000	124,000	62,000	76,000	新聞・雑誌
保険料	10,000	6,000	3,000	4,000	賠償保険料
委託料	100,000	62,000	31,000	38,000	会場設営等
使用料及び賃借料	10,000	6,000	3,000	4,000	会場費、会議室使用料
備品購入費	190,000	117,000	58,500	73,000	電飾、イス、テーブル等
計	1,180,000	730,000	365,000	450,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	みんなで楽しむNASU おおた笑市 楽しみん祭り実施事業
事業主体の名称	大田原OCP運営委員会
代表者の名称	佐々木 豊
事業主体の所在	那須塩原市野間472-28
事業主体の概要	<p>・団体の目的: コーヒーの愛好家のためのイベント「OCP」(=Ohtawara Coffee Picnic)の準備、運営と参加者相互の親睦を深める活動からスタートした団体であるが、コーヒーに限らず様々なテーマのイベント等による大田原市を知ってもらい、好きになってもらうきっかけ作り、また地域の住民が関われる特産品づくり等を通じて地域の活力を高め、魅力ある大田原のまちづくりに資することを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 2018年1月15日</p> <p>・構成員等: 役員3名、会員2名、ほか学生ボランティア等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須地区は歴史的にも重要な地域であり、大田原市は歴史が住みやすさを証明していると言える地域であるが、アピールの下手さもあり、なかなか外にその魅力が伝わらない。そもそも地域の住民自身が本当にこの地域の魅力を理解しきれているかも疑問である。地域で育った子どもが都会に出て行くことによる損失も大きいものであるが、その背景には地域の魅力や文化に対する理解・興味の不足があると感じている。その問題の解決のためには、地域で長く生活してきた高齢者の果たす役割は大きいと、定年退職後に社会とのつながりが希薄となり活かされずにいる高齢者の力をどう生かしていくかが課題である。</p>
事業目的	<p>大田原の「竹の里」としての魅力に着目し、地域の高齢者グループによる竹の食器づくりを通じた社会参加・就労の機会を設け、高齢者の生きがいを作り地域の活力を高める。竹の食器を活用した和菓子の開発・普及を行うことで、地域の魅力を高めることにもつながる。また、竹をはじめとした地域の文化に対する理解が深まることにより、地域の子どもの地域に対する愛着や思い入れが深まり、将来的に地域を離れない・戻ってくる土壌作りを目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和2(2020)年度】</p> <p>①「みんなのNASU * MAP」作成配布(7月から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大田原市の市街地を中心に、発酵食品を製造もしくは販売している事業所、サイクリストに有益な事業所、街を明るくするアート ・にかかわる事業所、自家焙煎など付加価値の高いコーヒーを扱う事業所その他お勧めのお立ち寄り場所に加え、湧水地や史跡 ・を記載したMAPを作成配布し、送客の試みをスタートする。 <p>②「おおた笑市 楽しみん祭り」開催(9月13日予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおた笑 * 竹のマルシェ(竹炭販売や竹製品の販売展示、竹の器を受かったスイーツの提案や販売) ・大田原市の発酵食品の紹介や販売、大田原市周辺のコーヒー店や飲食店の出店 ・大田原市の歴史や史跡の紹介 ・BGMと竹あかりで芝生deナイトヨガ <p>【令和3(2021)年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を評価分析し、継続して実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→R2: 200人【H30実績132人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26: 3,038,548人→R2: 347万人【H30実績: 3,501,066人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

			令和2(2020)年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容			みんなで楽しむNASU おおた笑市 楽しみん 祭り		みんなで楽しむNASU おおた笑市 楽しみん 祭り
事業費			1,050,000	1,050,000	1,050,000
市町支出金 (ソフト事業分)			840,000	840,000	840,000
うち県交付金			420,000	420,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	210,000	210,000	210,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	小山田 良洋
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みんなで楽しむNASU おおた笑市 楽しみん祭り実施事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	備考
市支出金	840,000	大田原市わがまち未来創造事業補助金
協賛金	210,000	
計	1,050,000	

2 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	120,000	96,000	48,000	24,000	出演者謝礼
消耗品費	140,000	112,000	56,000	28,000	イベント用消耗品
印刷製本費	300,000	240,000	120,000	60,000	マップ作成
委託料	160,000	128,000	64,000	32,000	会場設営、警備
使用料及び賃借料	130,000	104,000	52,000	26,000	音響・発電機レンタル、会場 使用料
備品購入費	200,000	160,000	80,000	40,000	小型ドームテント(展示ブース 用雨除け)×4
計	1,050,000	840,000	420,000	210,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合